

## 【聖書箇所 요약】

ローマの百卒長が自分のしもべの癒しをイエス様に頼みます。しかし彼は権威に服する者として「お言葉を下さい」とだけ願います。イエス様は彼の信仰を賞賛し、しもべの癒しをなさいました。

## 1. ローマの百卒長

### A. ローマの権威

- (1) 100人の兵士を持つ部隊長
- (2) 強大なローマの軍隊の権威を背景に持つ

### B. 人格者

- (1) 自分のしもべの病状を案じる
- (2) ユダヤ人との良き人間関係
- (3) 神への信仰



## 2. 権威の下に服する

### A. 権威とは

- (1) 権威 (ἐξουσία エクスーシア)
- (2) 力と権威  
「しかし、彼を受け入れた者、すなわち、その名を信じた人々には、彼は神の子となる**力** (ἐξουσία) を与えたのである。」  
(ヨハネによる福音書 第1章12節)
- (3) ヤコブがパロを祝福する  
「そこでヨセフは父ヤコブを導いてパロの前に立たせた。ヤコブはパロを祝福した。」  
(創世記 第47章7節)  
  
・全能の神の権威の下にある族長ヤコブが、この世の君主パロと出会い、彼を祝福した。

### B. 権威の世界に生きる

- (1) 権威で人を動かす
- (2) 権威を持った人に動かされる
- (3) 自らの意志で権威に服従する

- 権威で動く世界に生きてると、権威に対するセンスが磨かれます。百卒長がイエス様に賞賛されるほどの信仰の勘所をわきまえていたのは、自分の言葉の通りに動く兵士たちがおり、と同時に自分自身も千卒長の権威の下に服し、どんな命令にも従っていたからです。

### 3. 言葉と行動

#### A. 言葉と行動は同一

(1) ヘブル語の「言葉」(דָּבָר דַּבְּרָא) ダーバール)

- ・行動、出来事という意味も持つ
- ・聖書の世界では常に「言行一致」

(2) ただ、お言葉を下さい

- ・権威ある方の言葉は必ずその通りになるという信仰

#### B. 祈り、信じ、待つ

(1) 百卒長の信仰は百点満点

(2) 自分の信仰の量りに従って生きる

「神が各自に分け与えられた信仰の量りにしたがって、慎み深く思うべきである。」 (ローマ人への手紙 第12章3節)

- ・種の時代、芽の時代、花の時代、実の時代

(3) 信じて疑わないとは



権威の下に服して生きてみることに。これによって信仰のセンスは磨かれます。自分の今いる位置から信仰の完成に向けて歩み出しましょう。

### — 祈禱会説教 —

イエスに出会った人々シリーズ (その11)

## ただ、お言葉を下さい

- 1 イエスはこれらの言葉をことごとく人々に聞かせてしまったのち、カペナウムに帰ってこられた。
- 2 ところが、ある百卒長の頼みにしていた僕が、病気になって死にかかっていた。
- 3 この百卒長はイエスのことを聞いて、ユダヤ人の長老たちをイエスのところにつかわし、自分の僕を助けにきてくださるようにと、お願いした。
- 4 彼らはイエスのところにきて、熱心に願って言った、「あの人はそうしていただくねうちがでございます。
- 5 わたしたちの国民を愛し、わたしたちのために会堂を建ててくれたのです」。
- 6 そこで、イエスは彼らと連れだってお出かけになった。ところが、その家からほど遠くないあたりまでこられたとき、百卒長は友だちを送ってイエスに言わせた、「主よ、どうぞ、ご足労くださいませないように。わたしの屋根の下にあなたをお入れする資格は、わたしにはございません。
- 7 それですから、自分でお迎えにあがるねうちさえないと思っていたのです。ただ、お言葉を下さい。そして、わたしの僕をなおしてください。
- 8 わたしも権威の下に服している者ですが、わたしの下にも兵卒がいまして、ひとりの者に『行け』と言えば行き、ほかの者に『こい』と言えばきますし、また、僕に『これをせよ』と言えば、してくれるのです」。
- 9 イエスはこれを聞いて非常に感心され、ついてきた群衆の方に振り向いて言われた、「あなたがたに言うておくが、これほどの信仰は、イスラエルの中でも見たことがない」。
- 10 使にきた者たちが家に帰ってみると、僕は元気になっていた。  
(ルカによる福音書 第7章1節～10節)



2017  
9 / 27  
説教  
丸山 芳浩 師